

あらかわ区報

平成30年
1月1日
No.1609

主な内容

2・3面◆新春対談

4面◆あらかわ情報の森

荒川区

☎(3802)3111

FAX(3802)6262

http://www.city.arakawa.tokyo.jp/

http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/



ゆいの森あらかわゆいの森ホール

年頭にあたって



荒川区長
特別区長会会長
にししかわ たけひろ
西川 太一郎

新年あけましておめでとうござい
ます。区民の皆様におかれましては、健
やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

私は、区長就任以来、区民の皆様の幸
せを一つでも多く増やすことを区政の基
本として参りました。

日々目まぐるしく変化する社会環境の
中で、この基本理念に基づく取り組みを
推進していくためには、常に区民の皆様
が必要不可欠です。平成29年3月に開設
した複合施設「ゆいの森あらかわ」や、
国家戦略特区を活用した都市公園内への
認可保育園設置等の取り組みは、まさに
職員の英知を結集し、創意工夫により生
み出された施策の一例です。

区では、平成29年4月、「荒川区基本
構想」の後期10年間に於いて、区が目指
すべき方向性を示した「荒川区基本計
画」と「荒川区実施計画」を策定しまし
た。これらの計画に基づき、平成30年
も、安全安心な街づくりの推進、総合的
な子育て支援策の充実、地域経済やコミ
ュニティの活性化等、さまざまな施策の
展開を図って参ります。

経営の神様と言われた松下幸之助氏は、
「なすべきことをなす勇氣と、人の声に
私心なく耳を傾ける謙虚さがあれば、
知恵はこんこんと湧き出てくるもので
す。」という言葉を残しています。これ
は、基礎自治体としての区のあるべき姿
にも通じる言葉です。

私は、これからも、区民の皆様へ寄り添
い、その声に耳を傾け、区民の皆様の幸福
実感のさらなる向上のために、職員一丸
となって全力で取り組んで参ります。

結びに、本年が区民の皆様にとって、
素晴らしい一年となりますよう、心から
お祈りし、年頭のあいさつといたします。

新春対談

平成30年の新春区長対談は、ノンフィクション作家・柳田邦男氏と西川区長が、人生における絵本の関わりや、ゆいの森あらかわに込めた思いについて語り合いました。

絵本は人生で三度楽しめる

司会 ゆいの森あらかわには、3万冊もの絵本が蔵書できるそうですが、西川区長ご自身も大変な読書家だそうですね。

区長 父や中学の恩師の影響で、子どもの頃からたくさん本を読んできました。今でも、区長室には、手の届くところに本があります。また、柳田先生の「絵本は人生で三度楽しめる」というご指導のもと、300冊くらいの絵本を置いて、職員に貸し出しています。



柳田氏 私が絵本を紹介するようになったのは、自分が子育てをしていた1960年代で、日本の絵本が隆盛期を迎えた頃でした。素晴らしい絵本がどんどん発売されるようになり、夢中で子どもに読み聞かせをしていたのを思い出します。もう何十回読んだかわからないくらい子どもと一緒に読み、自分も絵本が好きになったのが最初のきっかけです。子どもが成長し、読み聞かせからは離れた時期に、第二のきっかけが訪れます。次男が亡くなり、その喪失の中で、書店の絵本棚の前で絵本を見ていたら、子どもに読み聞かせをしていた頃のことを思い出したんです。思わず購入して自宅で読み始めました。そうすると、命とはなんだろう、生きるうえで大事なものは何だろうというようなことが、絵本に書いてある。



絵本は人生を豊かにする

人生経験が豊富になった分、絵本を深く読めるんです。子どもに読み聞かせをしていたときは、一緒に楽しむことに夢中でしたが、今度は自分のために読むようになって、そうすると、初めて読んだ文学のように読めるんです。そこで、「絵本は人生で三度楽しめる」という言葉が頭にひらめきました。「幼少期」「子どもへの読み聞かせ期」「人生の後半期」の三度、楽しむことができます。こういう呼びかけを、いろんな機会にするようになりました。

絵本から気付くこと

区長 区では、柳田邦男先生のお名前を冠した柳田邦男絵本大賞を平成20年度から実施しています。絵本の感想、子どもに対する読み聞かせ体験等を、柳田先生への手紙にして届けてもらうもので、平成29年度も子どもから大人まで多くの方に応募していただきました。小さい頃に絵本を読む習慣を身に付けると、発想力・想像力・表現力等が自然に身に

についていきますよね。
柳田氏 いただいたものは、単なる感想文ではないんです。家族の情景がにじみ出ていたり、小学生が自分の心を見つめ直して、人生が変わったということが書かれていたりするのを見て、やはり人格形成において、幼い頃から絵本に関わることは大切だということを感じました。ここ数年は、毎年子どもたちから約1000通、大人から数十通のお便りが届いています。10年経ち、子どもたちが絵本というものを見直してくれていると実感しています。それから、保護者の気付きというのも素晴らしいです。ある保護者は、それまで子どもの失敗ばかりに目がいていたのが、絵本を読み聞かせることによって、少しでもできたことに注目するようになり、これからは一生懸命褒めて育てようと思うようになった、と書かれていました。絵本と一緒に読み聞かせしていると、気付くことがたくさんあって、子育ての基本を学ぶことができるんですね。

に育ってほしいという願いが込められています。また、区立小・中学校では、子どもたちの疑問を解決するための本や、興味や関心に応じた本を選ぶ手助けができるように、すべての図書館に学校司書を配置しています。
柳田氏 絵本の選び方には、決まりはありません。書店や図書館に行き、心が引き付けられる絵本を手にとってみる。次に、最初のページの文を読んでみる。少しページをめくって、おもしろそうだなと思ったら、その絵本を読む。月に1冊読むと、1年間で12冊。絵本に親しむことが、子どもの世代、孫の世代へと伝わる財産になり、その家庭に代々伝わっていく文化になる。その第一歩になるような活動に、少しでも協力できればと考えています。

あらかわの未来に続くページ

柳田氏 ゆいの森あらかわを建設する際の検討に私も委員として参画させて頂いたのですが、図書館が心の癒しの場であったり、子どもたちの人格形成の場であったり、あるいは親子が仲良く本を読める場になるようにコンセプトを固めていきました。2階から4階を

柳田 邦男 (やなぎだ・くにお)

1936年(昭和11年)、栃木県生まれ。東京大学経済学部卒業。1995年(平成7年)「犠牲(サクリファイス)ーわが息子・脳死の11日ー」で菊池寛賞、2005年(平成17年)「エリカ 奇跡のいのち」で日本絵本賞翻訳絵本賞受賞。柳田先生は、荒川区の読書推進活動に共鳴していただき、それが2008年(平成20年)の「柳田邦男絵本大賞」の創設につながりました。個人的な体験が書きやすいようにと、絵本の感想等を柳田先生に宛てた手紙形式になっているのが特徴です。



段差のある吹き抜け構造にして、4階と5階のテラス部分に大きなプランターを置いて、木を植えるようにしました。やがて木が育ってくると、図書館が森を抱えているような感じになる。森の中にあるテラスに出て本を読めるような場所にしました。また、ゆいの森ホールには、両面の壁いっぱい、絵本の表紙が見えるように飾っています。これは、絵本でいっぱいの子どもの頭の中、というイメージなんです。思いやりや優しい心が育ってほしいという意味を込めています。

区長 ゆいの森あらかわは、柳田先生を含め、たくさんの方にご協力いただき開館することができました。開館したことによりその周辺地域の活性化につながっています。私は、毎日のようにゆいの森あらかわに行っているんです。子どもたちがテーブルを囲んで勉強をしたり、本を読んでいる姿を見ると、本当にうれしくなります。大人の方も大勢いらっしゃいますし、お茶を飲みながら、語り合う姿も見られます。区民の皆様が楽しそうに利用している姿を見るのがうれしいです。

区民の皆様には、ゆいの森あらかわを始め、区の施設をたくさん利用してほしいです。そして、そこに集う笑顔がたくさん増えるように、区民の皆様を幸せを最大にできるように、今後も区政への声をしっかり受け止めて職員一丸となって全力で取り組んでいきたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。



あらかわ

情報の森

費用の記載がない事業は無料です

お知らせ

休館のお知らせ

◆生涯学習センター・教育センター
 1月14日(日) ※14日の利用受け付けは、1月13日(土)に受け付け
 ◆西日暮里ふれあい館
 3月18日(日) 西日暮里ふれあい館 ☎(3819)6945

就学・入学通知書を送付

4月に区立小・中学校に入学予定の方へ、入学予定校等を記載した通知書を1月中旬に送付します。通知書が届かない・記載内容に誤りがある・区立以外の学校に入学する方にご連絡ください。
 ☎学務課 ☎内線3333

国民健康保険料・後期高齢者医療保険料のお知らせ

◆国民健康保険・後期高齢者医療保険の休日窓口を開設
 1月28日(日) 午前9時～午後5時 ☎保険料の納付・相談
 ◆1月～3月分の各保険料納期限
 ▶1月分…1月31日(火) ▶2月分…2月28日(火) ▶3月分…4月2

後期高齢者医療保険料の納付書は、1月中旬に送付します。
 所・国保年金課(区役所1階) ☎内線2386

荒川区在宅療養連携推進会議

1月15日(月) 午後7時～8時30分 所区役所3階304・305会議室 ※傍聴を希望する方は、午後7時までに直接会場へ(定員20人(当日の先着順))
 ☎高齢者福祉課 ☎内線2668

インターネット公売の開催

区で差し押えた財産(動産)をインターネットでの入札により売却します。
 参加申込期間 1月10日(火)午後1時～1月23日(火)午後11時
 入札期間 1月30日(火)午後1時～2月1日(休)午後11時 ※詳細は、荒川区ホームページをご覧ください
 ☎税務課 ☎内線2339

一日文化体験フェア 特別講演会参加者募集

2月24日(土) 午後1時～2時30分 所町屋文化センター
 人120人(抽選) ☎音楽が持つ力について 調音楽評論家・湯川れい子氏 締1月31日(火)必着
 申はがきに、イベント名・代表者の

住所・電話番号・参加者(2人まで)の氏名(ふりがな)・年齢を、〒116-0002荒川区荒川7-20-1町屋文化センター内ACCへ
 ☎(3802)7111

講座・催し

障がいのある当事者による相談

1月13日(土) 午前10時～午後3時 ※要予約 ☎視覚障がい者、聴覚障がい者、肢体不自由者による相談 所・国荒川たんぽぽセンター ☎・FAX(3807)8483

通訳ボランティア勉強会

1月15日(月) 午後1時30分～4時30分 所ゆいの森あらかわ2階会議室 対区内在住・在勤・在学中で、外国語で日常会話程度の語学力がある方(国籍不問) 人40人(申込順) 締1月12日(金) 申電話・電子メールで、講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・通訳できる言語を、荒川区国際交流協会事務局(文化交流推進課内)へ
 ☎(3802)3798
 申bunka@city.arakawa.tokyo.jp

空き家相談会

1月17日(火) 午後2時～4時 所区役所北庁舎301会議室 対区内在住または区内に空き家を所有している方 ☎空き家の相続や登記・解体等に関する相談 締1月16日(火) 申防災街づくり推進課 ☎内線2826

お口と食事の元気塾 「誤嚥性肺炎予防講座」

1月18日、2月1日(休)(全2回) 午後2時～4時 所ゆいの森あらかわ2階会議室 対区内在住・在勤で、おおむね65歳以上の方 人30人(申込順) 締1月17日(火) 申高齢者福祉課 ☎内線2666

心身障がい者青年教室 「さくら教室」見学会

1月28日(日) 午前9時30分～正午 所第一中学校 対区内在住・在勤・在学の15歳以上の方、ボランティア活動に興味のある方 ☎各クラブ(パソコン・美術・音楽等)・学級活動の見学 申生涯学習課 ☎内線3355

子育て女性の キャリアアップ講座

2月7日(火)～9日(金)・13日(火)・14日(水)午後0時30分～4時30分…ムーブ町屋ミニギャラリー ▶2月15日(木)・16日(金)午後1時30分～4時…マザーズハローワーク日暮里 ※全7回 対再就職を希望する子育て中の女性 人10人(申込順) 託児満1歳以上の未就学児(定員あり、申込順) ☎ワード・エグセルの講習、応募書類の作成方法、パーソナルカラー診断等 締1月26日(金) 申就労支援課 ☎内線466

障がい者地域自立生活支援 セミナー「ピアカウンセリングを知ろう」

2月10日(土) 午前10時～正午 対身体に障がいのある方 人20人(申込順) ※手話通訳あり 所・申荒川たんぽぽセンター ☎・FAX(3807)8483

MACCセミナー 「Webで販売促進～動画・ECサイトの基礎知識」

2月22日(木) 午後1時30分～3時30分 所産業経済部研修室(荒川消防署隣セントラル荒川ビル4階) 対中小企業経営者・従業員等 人20人(申込順) 調株式会社マインズICTコンサルタント・小野正博氏 申電話・ファクス・荒川区ホームページで、会社名・業種・会社所在地・氏名・電話番号を、経営支援課へ ☎内線458 FAX(3803)2333

ゆいの森あらかわの来館者が50万人を突破

ゆいの森あらかわは、平成29年3月26日の開館後、平成29年12月7日に来館者が50万人を達成しました。記念セレモニーでは、前を通る特別区道荒42号線の愛称名が「ゆいの森通り」となることや、ゆいの森に隣接し、防災機能を備えた「ゆいの森芝生広場」のオープンについて、併せて発表されました。



▲左から西川区長、木村貴史さん、貴音ちゃん、未音里さん

問合せ ゆいの森課 ☎内線2256

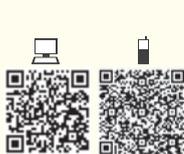
1月 CATV マイチャンネルあらかわ

番組案内 地デジ11ch (番組内容は変更になる場合があります)

	1日祝～7日祝	8日祝～14日祝	15日月～21日祝	22日月～28日祝	29日月～31日祝
▶こんにちは荒川区 (午前9時、正午、午後6時・9時から各57分)	新春区長対談「子どもたちの未来を育む～柳田邦男先生と語る読書・絵本の魅力」※ピックアップ・あらまちなりワイド・行政ナビなどの放送はありません	おももしろ探究授業(街)・都電でまち歩き(街)・消費生活センターからのお知らせ	俳句ハイク(街)・冬の食中毒予防	ドッジビークリスマスイベント(街)・あらかわ部活応援(街)・確定申告のお知らせ	成人の日のつどい(街)・職人に弟子入り(街)・公証役場からのお知らせ
▶あらかわ情報スクエア (午後4時・7時から各57分)	日暮里コレクション2017	高齢福祉寄席「荒川区の高齢化の現状を学ぼう」	消費者講座「クリーニングの基礎知識とプロが教える洗濯の技」	疾病別栄養講座「骨折で寝たきりにならないための食生活」	人権週間事業講演会「熱をもって接すれば、熱をもってかえってくる～児童虐待の現状と私たちができること」(前編)
その他の番組	▶あらまるNEXT (区内情報番組) 放送時間 毎日午前6時・8時30分、午後1時30分から ▶あらぶんちよ! (荒川区・文京区・千代田区内の地域情報番組) 放送時間 毎日午前11時、午後2時・5時から		ケーブルテレビの申込み・問合せ ▶東京ケーブルネットワーク荒川サービスステーション ☎0800(123)2600 ▶荒川ケーブルテレビ ☎(3894)3888		

1月20日(日)までの休日診療当番医は、区報平成29年12月21日号または荒川区ホームページをご覧ください

あらかわ 区報
 発行 荒川区
 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3
 ☎(3802)3111 FAX(3802)6262
 毎月1日・11日・21日
 ※5月11日・8月11日・1月11日は休刊です
 6万8500部発行
 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/
 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/keitai/



住民基本台帳による人口と世帯

人口	前年同月比	世帯	前年同月比
日本人	97,920人	92	237
男女計	98,296人	110	622
	196,216人	202	859
外国人	9,124人	-1	359
男女計	9,550人	37	383
	18,674人	38	742
総人口	214,890人	239	1,601
日本人のみの世帯	101,133世帯	81	927
外国人のみの世帯	10,941世帯	-13	647
日本人と外国人の混合世帯	2,337世帯	14	3
総世帯	114,411世帯	82	1,577

新聞未購読で、あらかわ区報の個別配付を希望する方は、広報課 ☎内線2139へ(荒川区ホームページからも申し込めます)